

# ～TANKYU～

谷地南部小学校

校内研究だより

2024. 1. 18

No.46 文責 荒木秀

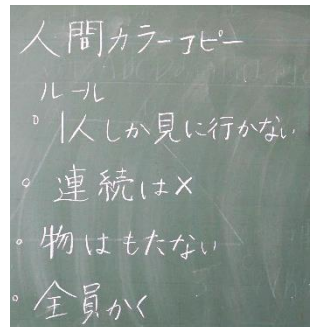
## 菅野先生に学ぶ

学年の締めくくりである3学期に入り、2週間が過ぎようとしています。どの学年も、次年度へ向け、学習面のみならず、生活面でも指導に熱が入っているところではないでしょうか。でも、あまり焦らずにいきたいですね。小学校は6年間。もっと言えば、義務教育は、9年間です。今がゴールではありません。「〇年生だから、これぐらいできていないと。」と、杓子定規ではかるのではなく、目の前の子に合わせていきたいですね。ほどほどに。

とは言いながらも、今一番子どもたちのことが気がかりで仕方がないのは、何と言っても5年担任の菅野先生だと思います。3学期に入り、様々な役回りが一気に降ってきて、さらに「6年生を送る会」「就学時検診」の準備もあって、リーダーとして学校を引っ張っていきけるのだろうかという焦りが募っているのではないのでしょうか（1年前の私はそうでした）。菅野先生にとっての、今、目の前の課題は「リーダーを育てる」ということかもしれません。普段の授業でも、それを意識された授業をされていたので、ご紹介します。

### 5年図工「人間カラーコピー」

方法は、先生が用意した絵を、グループで協力して同じように描く（コピーする）というものです。ただし、絵は隠されていて、見に行くためには、右写真のようなルールがあります。



絵を仕上げるためには、グループで協力しなければなりません。「えっ、色違うくねえ。」「りゅうくん、名札どっちにあるか見てきて。」…頭をくっつけて、楽しみながら活動する姿が見られました。

私なりに、この授業の価値を考えてみました。

- 1、絵をよく見る。（主に図工の鑑賞の力が身に付く。）
- 2、コミュニケーションが必要。（1人では、絶対に達成できない課題である。）
- 3、2の結果。人に指示を出す学習ができる。（様子を見てみると、指示がどんどん明確になっていきました。「太陽の色を見てきて。」）
- 4、役割分担が生まれる。（絵が上手な子は絵。苦手な子は、伝達係。）
- 5、3の結果。自分が人のために役立っているという自己肯定感が高まる。

裏面に続きます

教科の見方・考え方を働かせながら、同時に汎用的な力（リーダーとして必要な力「コミュニケーション能力」「指示を出す力」「協力する力」等々）も養われる素晴らしい授業だと思いました。きっと、このような授業を続けていくことで、子どもたちの自覚と相まって、リーダーとして成長してくれると思います。まさに「啐啄同時」ですね。

